

頻発する米軍F-15イーグル戦闘機の緊急着陸に対する意見書

米空軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機が、去る5月28日に国頭村安田の南東約59キロ沖合の海上に墜落した。事故発生後、在沖米空軍はわずか二日後には「所属するすべてのF-15イーグル戦闘機の点検を終了し安全性が確認された」と墜落原因の究明を待たず飛行訓練を再開した。

嘉手納町議会は、同型機が墜落事故などを起こすたび、事故原因の早急な究明と公表、再発防止策の徹底を訴え、同機種に重大な欠陥があるとの疑いと老朽化を指摘してきた。

しかし、米軍はF-15イーグル戦闘機について、グレードアップし新品同等に近い状態であると老朽化及び構造的な欠陥を認めていない。

安全性を唱えた米軍の説明に反して、飛行訓練再開後、わずかな期間内に10回以上も緊急着陸を繰り返している。緊急着陸は、機体の安全性欠如、墜落の危険性を示すものであり、町民居住地上空での飛行は断じて許せるものではない。

また、地元住民への不安を解消できていないにもかかわらず、軍事訓練優先で現状を把握しきれていない日本政府の住民軽視の姿勢にも強い憤りを感じる。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産及び安全、平穏な生活を守る立場から、関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を強く要求する。

記

1. F-15イーグル戦闘機の緊急着陸の原因の公表。
2. F-15イーグル戦闘機など航空機の再点検整備の徹底。
3. F-15イーグル戦闘機部隊の撤去。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月28日
沖縄県嘉手納町議会

頻発する米軍F-15イーグル戦闘機の緊急着陸に対する抗議決議

米空軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機が、去る5月28日に国頭村安田の南東約59キロ沖合の海上に墜落した。事故発生後、在沖米空軍はわずか二日後には「所属するすべてのF-15イーグル戦闘機の点検を終了し安全性が確認された」と墜落原因の究明を待たず飛行訓練を再開した。

嘉手納町議会は、同型機が墜落事故などを起こすたび、事故原因の早急な究明と公表、再発防止策の徹底を訴え、同機種に重大な欠陥があるとの疑いと老朽化を指摘してきた。

しかし、米軍はF-15イーグル戦闘機について、グレードアップし新品同等に近い状態であると老朽化及び構造的な欠陥を認めていない。

安全性を唱えた米軍の説明に反して、飛行訓練再開後、わずかな期間内に10回以上も緊急着陸を繰り返している。緊急着陸は、機体の安全性欠如、墜落の危険性を示すものであり、町民居住地上空での飛行は断じて許せるものではない。

また、地元住民への不安を解消できていないにもかかわらず、軍事訓練優先で現状を把握しきれていない日本政府の住民軽視の姿勢にも強い憤りを感じる。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産及び安全、平穏な生活を守る立場から、関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を強く要求する。

記

1. F-15イーグル戦闘機の緊急着陸の原因の公表。
2. F-15イーグル戦闘機など航空機の再点検整備の徹底。
3. F-15イーグル戦闘機部隊の撤去。

以上、決議する。

平成25年6月28日
沖縄県嘉手納町議会